

# 宵闇草紙



# 宵闇草紙



作：純友良幸



いつ来たの？



おかあさん！



ああ…でも  
すっかり良くなった  
ようね

熱を出したときいて  
心配だったの



…ごめんね。



おかあさん  
戻ってきては  
くれないの？

おとうさんも  
きっと喜ぶと  
思うんだ



それに、私が今さら  
帰ってきたりしたら  
お父さんのお立場が  
ないわ。

そんなことない！

おとうさん、いつも  
研究室の机の上に  
おかあさんの写真  
置いてるんだよ



…私、もう  
行かないと

大丈夫  
お父さんにも  
ご挨拶して  
帰りますからね。

せ…先生っ！

行かないでって  
言いたいのにな…  
身体がたるくて  
動けない

おかあさ…





ははは！

人魂？フン！  
仮にも科学者の  
端くれだろう  
いえ、ほんと  
今窓の外を  
スーッと...



くだらん！

お盆ですからね  
奥様が教授に  
逢いにいらしたんじや  
ないですか？



幽霊など...  
残された者の  
感傷に過ぎんよ。

おわり



何だね君  
騒々しい

人魂ですよ  
人魂！

宵闇草紙（よいやみそうし）

<http://p.booklog.jp/book/52941>

著者：純友良幸

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/su-min55/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/52941>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/52941>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社ブックログ